



県民みんなが応援団だモン! くまもと家庭教育支援条例

平成25年4月1日施行
全国で最初に制定

家庭教育を取り巻く現状

少子化、核家族化が進むとともに地域のつながりが少なくなっています。過保護、過干渉、放任など家庭の教育力の低下も指摘されています。

家庭教育支援の必要性

保護者が親として学び自ら成長していくこと、悩みや不安を抱えたまま孤立している保護者を県民みんなが支えていく必要があります。

くまもと家庭教育支援条例に基づく家庭教育を支援するための施策の例

保護者やこれから親になる世代に学習機会を提供(12・13条)

「親の学び」講座(くまもと「親の学び」プログラム)

子育てのポイントを身近な話題から楽しく学んだり、保護者同士のつながりを深める「くまもと「親の学び」プログラム」を活用した参加体験型の学習機会です。子育てに関するヒントを得たり、子育てへの前向きな気持ちを高めることができます。



保護者の方向けには、保育参観、就学時健康診断、保護者会などの機会に行われています。

近い将来親になる中学生や高校生には、主に集団宿泊教室やホームルームの時間に行われています。

家庭教育を支援する人材を養成(14条)

家庭教育をサポートする人材や「親の学び」講座を実施する人材を市町村と連携して養成しています。

学校や地域、企業と連携して応援(15条)

学校や地域、企業の皆さんに、くまもと家庭教育支援チームに登録いただき、子育てを応援します。

悩みや不安に対する相談(16条)

すこやか子育て電話相談事業 096-383-6636
月曜日～金曜日 17時～21時 土曜日13時～17時

家庭教育支援の広報や啓発を推進します。(17条)

子どもたちの健やかな成長に
喜びを実感できる熊本の実現

詳しくはホームページで [熊本県教育委員会](#) ▶ [家庭教育](#) ▶ [くまもと家庭教育支援条例](#)

(社会教育課)

スマートフォンやSNSの安全利用について

注意! スマートフォンなどを利用する子どもたちの年齢が低年齢化しています。これらはとても便利なツールですが、使い方を正しく伝えなければ、視力や依存症など心身の健康に影響を及ぼす可能性や、自撮りや詐欺などの犯罪に巻き込まれる可能性があります。

必読! 子どもたちに機器を使わせるうえで大人が知っておくべき内容を、分かりやすく読みやすい小冊子にまとめ、熊本県警察にて公開しています(熊本県教育委員会も協力)。ぜひ、ご一読ください!

是非! 保護者・教職員向け「情報安全出前講座」の実施についても、お気軽にご相談ください(教育政策課 ☎096-333-2673)



QRコードは
こちら!



トピック 県内の専門高校生が全国大会で大活躍!

【第70回 日本学校農業クラブ全国大会南東北大会】

令和元年10月22日～24日に開催され、本県の農業高校生が輝かしい成績を残しました。

●プロジェクト発表会/分野1類(生産・流通・経営) 最優秀賞並びに農林水産大臣賞
熊本農業高校 畜産科 2年生の皆さん

●農業鑑定競技会/食品(最優秀賞並びに文部科学大臣賞)熊本農業高校 食品工業科 3年 藤井 温志さん
●農業鑑定競技会/森林(最優秀賞) 南陵高校 総合農業科 2年 黒肥地 昂志さん



(農業クラブ全国大会受賞者の知事表敬)

【小川工業高校 機械工作部 エコデンレース「バッテリー部門」「充電電池部門」で優勝】

エコデンレースとは、電気エネルギーを効率よく利用して走行距離を競うレースでバッテリー部門(原付バイク用バッテリー)と充電電池部門(単3形充電電池10本)があり、ドライバー1人を乗せて一周約300mのコースを40分間走行した周回数を決めます。

【阿蘇中央高校 農業食品科 日本一おいしい米コンテスト最優秀金賞を受賞】

阿蘇中央高校農業食品科1年生が丹精を込めて育てた「ミルキーQueen」は、山形県庄内町で毎年行われている「あなたが選ぶ日本一おいしい米コンテスト」高校生部門において、全国から出品された64品の中から日本一に当たる最優秀金賞を受賞しました。



(小川工業高校の小野副知事表敬)

ばとん・ぱすに対するご意見・お便り募集!! 各コーナーへのご意見・ご要望、アイデア、取り上げてほしいテーマなどありましたら、お気軽にお便りください。お待ちしております。熊本県教育庁教育政策課「ばとん・ぱす」係/〒862-8609 熊本県中央区水前寺6-18-1 TEL096-333-2672 FAX096-384-1509

発行者: 熊本県教育委員会
所属: 教育政策課
発行年度: 令和元年度

学校から家庭へ、地域から地域へ、そして世代から世代へ。

バトンをパスするように、いろいろな“学び”の姿をお伝えする教育プレス。保護者の皆さんへ教育のあれこれをお知らせします。

熊本県
教育
広報誌

ばとん・ぱす

vol.49

熊本教育プレス「ばとん・ぱす」vol.49
令和2年3月
編集・発行/熊本県教育庁教育政策課
〒862-8609 熊本県中央区水前寺6丁目18番1号
熊本県教育庁 教育政策課「ばとん・ぱす」係
TEL.096-333-2672 FAX.096-384-1509
MAIL:kyouikuseisaku@pref.kumamoto.lg.jp

熊本県教育委員会

もくじ

- 1 〈特集〉令和2年度の重点施策
- 2 〈特集〉「熊本の学び推進プラン」の紹介
- 3 〈特集〉グローバル人材の育成
〈特集〉SSH(スーパーサイエンスハイスクール)の紹介
- 4 〈特集〉くまもと家庭教育支援条例
〈特集〉スマートフォンやSNSの安全利用について
〈トピック〉県内の専門高校生が全国大会で大活躍!

令和2年度の重点施策

「子供のため」という原点に立ち、新たな時代の到来を見据え、「夢」を叶える教育の実現を目指す施策に取り組みます。

「夢」を叶える教育

●熊本県教育委員会は、「熊本の宝」である子供たちの夢を叶える教育を推進します。

「変革、節目の年」

- 令和2年度から新しい学習指導要領が実施されます*。
- 本県の新たな教育大綱、教育振興基本計画の策定を予定しています。



*小 学 校: 令和2年度全面実施、中学校: 令和3年度全面実施
高等学校: 令和4年度から年次進行で実施
特別支援学校は、小・中・高に合わせて実施。

「夢」をはぐくむ

◆確かな学力の向上

- 「熊本の学び推進プラン」の活用を推進します。
- 「熊本県学力・学習状況調査」を実施し、詳細な分析資料と児童生徒一人一人の課題に応じた学習プリントを活用して、課題解決に取り組みます。
- スーパーティーチャー(指導教諭)を増員し、教員への指導・助言等を充実させることで、授業改善や教員の指導力向上を図ります。

◆世界に羽ばたく人材の育成「英語教育日本一」

- 外部検定試験の受験料補助や県立学校のALT(外国語指導助手)の増員により、児童生徒の英語力向上を図ります。
- 英語教育推進リーダー等を活用した研修を開催し、教員の英語力及び指導力の向上を図ります。

「夢」を拡げる

◆ICT活用による学校の活性化

Society5.0時代に必要な児童生徒の資質等の育成を図るため、1人1台の学習者用端末など学校のICT環境整備の実現を目指します。



◆県立高校の魅力化

外部有識者による検討会議を開催し、新しいニーズに応える魅力ある学校づくりに取り組みます。

「夢」を支える

◆働き方改革の推進: スクール・サポート・スタッフや部活動指導員を増員し、教職員が児童生徒と向き合う時間の確保を図ります。

◆魅力あふれる学校の整備: 県立学校施設の計画的な老朽化対策とともに、UD(ユニバーサルデザイン)改修など、時代や実情に応じた施設整備を進めます。

◆子供たちの命を守る教育の徹底: SC(スクールカウンセラー)やSSW(スクールソーシャルワーカー)などの専門家との連携を強化します。

◆創造的な復興に向けた取組: 災害時の学校支援チームの派遣や県立学校の防災機能強化を図ります。



五者が連携して取り組む「熊本の学び推進プラン」がスタートします

熊本の未来の創り手となる子供たちの学びについて、新たな方向性を示すために、「熊本の学び推進プラン」を昨年12月に策定しました。

令和2年度から、子供を中心に、学校、家庭、地域に行政を含めた「五者」で連携した取組をスタートします。

熊本の未来を創る子供たちのために、ともに力を合わせて歩んでいきましょう。



<理念> 熊本のすべての子供たちが、「学ぶ意味」を問いながら、「能動的に学び続ける力」を身に付けることを目指します。

熊本の未来の創り手となる子供たちに期待する学び（提言）

- 提言-1** ふるさと熊本に根ざし、豊かな郷土の創造と自己の向上を目指し、能動的に学び続ける熊本の子供
- 提言-2** 問いを発し、課題に主体的に立ち向かい、学びを深める熊本の子供
- 提言-3** 自分の学びの姿を知り、日々たゆまず、自ら学ぶ熊本の子供

熊本の学びの「理念」と「三つの提言」が実現できるよう、「熊本の学び推進プラン」の基本方針を以下の四つに整理し、取組を推進していきます。

四つの基本方針！

方針-1 教育活動の質を向上させ、学習効果の最大化を目指すカリキュラム・マネジメントの推進

～子供たちに育みたい力を五者で共有します～

- 懇談会や地域の会議等を活用し、子供たちに育みたい力を説明します。
- 全校集会等を活用し、子供たちに身に付けてほしい力を説明します。
- 定期的に学校評価を実施し、子供たち、家庭、地域の意見を参考にします。

方針-2 子供が問いを発し、課題に主体的に立ち向かい、学びを深める授業改善の推進

～子供たちを「学びの主人公」として育てます～

- 「わくわく」が連続し、学んだことを次の学習や実生活に生かそうとする授業を行います。
- 日々の授業で、積極的にICTを活用します。
- グローバル社会を生き抜くための英語教育を充実します。
- 地域のよさ（宝）を生かした「総合的な学習の時間」を行います。

方針-3 子供と教師のための効果的な学力向上検証改善サイクルの確立

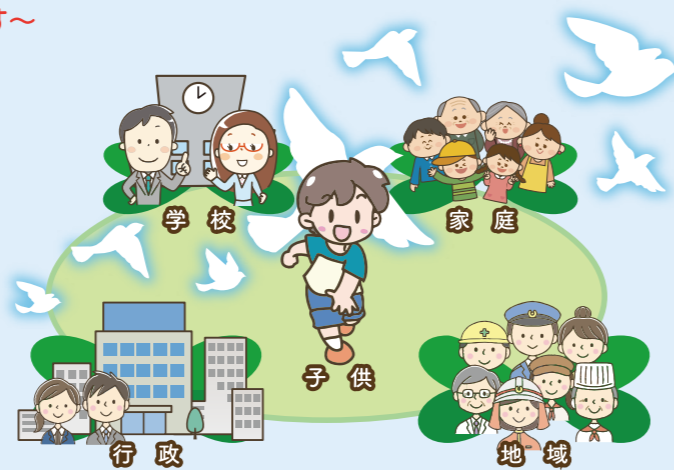
～新たな県学力・学習状況調査を実施します～

- これまで実施していた県学力調査に、学習習慣や生活習慣に関する意識調査を加えて実施します。
- 一人一人の定着やつまづきが詳しく分かるよう個人票を提供します。
- 一人一人の定着に応じたプリントを提供します。

方針-4 家庭と連携を図りながら、子供たちの学習習慣形成を促す取組の推進

～家庭学習の充実を図ります～

- 生涯にわたって自ら学ぶ子供を育てるための、学習習慣形成の素地となる環境づくりを行います。
- 家庭と連携し、自ら計画を立てて、家庭学習に取り組む子供の育成を目指します。



熊本の学びでは、子供を中心に、学校、家庭、地域に行政を含めた「五者」で連携した取組を大切にしていきます。

(義務教育課)

グローバル社会に対応できる人材を育成します

小中学校 令和2年度から、小学校では新学習指導要領が全面实施となり、小学校3・4年生では外国語活動が、5・6年生では教科としての外国語科の授業が始まります。

本県では、自分のこと、自分の住んでいる地域・郷土のことを英語で発信できる子供を育成するために様々な取組を行っています。令和元年度は、県内全小学校への「くまモン!英和・和英じてん」の配付や中学3年生を対象とした英語検定受験料の補助などの環境整備を行ってきました。また、子供たちがALT（外国語指導助手）と一日英語で過ごし、異文化交流体験活動を行う「肥後っ子わくわくイングリッシュ・キャンプ」を小学校中・高学年・中学生を対象に3回開催しました。子供たちは、学んだ英語が実際に伝わる喜びを感じていました。

今後も、更なる取組を推進していきます。



(義務教育課)

県立高校 話す力や書く力など、英語で発信する力を伸ばすために、ALT（外国語指導助手）を積極的に活用した授業を行っています。令和元年度からALTの数を増やした結果、生徒が英語の授業だけでなく、休み時間や放課後などもALTと触れ合い、日常的に英語を使う機会が増えています。

今後は、理科や家庭科など、英語以外の教科でもALTを活用した授業を実施するとともに、スーパーイングリッシュキャンプやディベート研修会など、より高度な実践をとおして発信力を高める取組を進めます。



(高校教育課)

SSH (スーパーサイエンスハイスクール)

育て! 未来の科学技術人材!

文部科学省が指定する「スーパーサイエンスハイスクール (SSH)」(全国で212校指定)は、先進的な科学技術、理科・数学教育を通じて、生徒の科学的な能力や科学的思考力等を培うことで、将来社会を牽引する科学技術人材を育成するための取組です。熊本県内では4校が研究指定を受けています。

第二高校 普通科・理数科・美術科が学科の枠を超え、科学と融合する3年間

- ◆全校生徒が課題研究に取り組む 理数科「スーパーサイエンス」美術科「アートサイエンス」普通科「グローバルリサーチ」の探究科目を開設し、各学科の特色を活かした探究活動を行っています。
- ◆全教科・全領域で探究型授業を実施 授業の効果・効率・魅力を高める手法の導入、習得・活用・探究の視点で学びを評価する探究型授業(主体的・探究的な深い学び)を行っています。



課題研究の様子(理数科)

熊本北高校 最先端の科学の学び・多くの国際交流や海外体験の機会がある北高

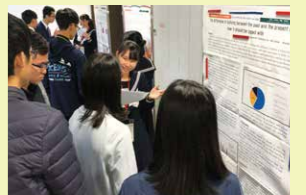
- ◆豊富な科学の課題研究 全校生徒が研究活動に取り組んでいます。課題研究は理数科を中心にしていますが、普通科理系クラスにおいても理数科と類似の取組を行っています。
- ◆グローバルなプログラム 海外への修学旅行や研修の機会が充実しています。毎年、アメリカ・台湾・シンガポール・マレーシアで生徒交流を行っています。また、海外からの留学生を積極的に受け入れています。外国からの訪問も多くあります。留学生の母国は、アメリカ・アルゼンチン・イタリア・オーストラリア・ポルトガルなど様々です。本校には国際交流ができる環境が整っています。



シンガポールでの研修

宇土中学校・高校 海外研修・学会発表 全国から注目を集めるUTO-LOGIC

- ◆探究活動でキャリアを拓く 探究活動「LOGIC」で深め、実験・考察した成果を国内外の学会等で発表(SSH指定7年間で150人以上)。生徒が発見したレンズの公式が高校物理の教科書にも掲載されました。
- ◆探究「問い」を創る授業 “なぜ?”小さな疑問から視点を広げ、生徒が、教師が、主体的に問い、学びを深める授業を実践。全国から毎年100人余の教育関係者が視察に来られています。



台湾にて英語で研究発表

天草高校 サイエンスの宝島 天草から世界へ!

- ◆研究テーマは、全て天草の抱える地域課題 「メダカやウミホタル」「潮流発電」「珪藻・花粉の化石から導き出した海水準変動予測」などの研究を行っています。イルカ撮影のために海に向かってドローンを飛ばしたり、地形や橋などの3Dモデルを作成し3Dプリンターで造形したりしています。
- ◆世界に発信 研究成果をマレーシアに発信するなど、世界で活躍できる人材を天草から育てます。「海水準変動予測」の研究は、日本代表になりシンガポールの発表会で英語で研究発表しました。



大空に向かってドローン

(高校教育課)